

第208圖

さく科



やましろぎく

一名 しろよめな

Aster trinervius Roxb.
var. *adustus* Maxim.

多年生草本ニシテ山野ニ生ズ。莖ハ細長、直立、高サ30-90cm許、葉ハ短柄アリテ互生シ、鋭頭楔脚ノ廣披針形ヲ成シ、邊緣ニ粗鋸齒ヲ有ス。葉面糙澁スルヲ常トシ、下部三條ノ葉脈分明ナリ。秋月、莖梢ニ枝ヲ分チ、白色黄心ノ頭狀花ヲ繖房狀ニ着ク。時ニ微紫色ノ品アリ。のこんぎくと混ジ易ケレドモ花白クシテ總苞片暗色ヲ帶ブルヲ以テ異リトス。和名ハ山白菊ノ意ナリ。漢名 野粉團兒(慣用)

第209圖

さく科



いなかぎく

Aster ageratoides Turcz.
var. *amplexicaulis* Makino.
(= *A. trinervius* Roxb. var. *semiamplexicaulis* Makino; *A. ageratoides* Turcz. subsp. *amplexicaulis* Kitam.)

本州中部以西・四國・九州ノ山地ニ自生スル多年生草本。地下ノ淺處ニハ根莖横走ス。莖ハ直立シテ高サ50cm内外。全株白色軟毛ヲ布クコト密ナリ。葉ハ披針狀長橢圓形ニシテ質軟ク、漸尖頭、銳尖底、底部ハ稍耳朶形ヲ呈シテ抱莖スル殊態アリ、邊緣上半ニハ齒牙狀鋸齒ヲ刻ムト雖モ底部附近ハ全邊ナリ。秋晚ク梢上繖房狀ヲ成シテ多數ノ頭狀花ヲ着ケ、其頭狀花ノ形ハやましろぎくニ類似シ、舌狀花ハ十乃至十五箇ノ帶白色或ハ淡紫色ナリ。總苞片ハ長橢圓形鈍頭ニシテ白細毛ヲ布ク。冠毛ハ汚白色。和名ハ田舎菊ノ意ニシテ地方ノ山地ニ生ズレバ云フ。

第210圖

さく科



しらやまぎく

Aster scaber Thunb.

山野ニ生ズル多年生草本ニシテ高サ1.5m許ニ達ス。莖葉共ニ極メテ粗糙、葉ハ互生シ、根葉及脚葉ハ有翼ノ長柄ヲ具ヘ、心臟形乃至長心臟形ヲ成シ、邊緣ニ鋸齒ヲ有ス。梢葉ハ短柄ヲ有シ、狹小ニシテ長卵形或ハ披針形ヲ成ス。往々葉ニ無性芽ノ如キモノヲ生ズルコトアリ、是レ一種ノ蟲癭ナリ。秋月梢上ニ枝ヲ分チ、多數ノ頭狀花ヲ着ク。綠色總苞片ハ鈍頭長橢圓形ヲ成シ、周縁ノ舌狀花ハ白色ニシテ少數、中心管狀花ハ黄色ニシテ多數アリ。嫩苗ヲむこなト稱ヘ、食用トスルコトアリ。漢名 東風菜(誤用)

さはしろぎく

Aster rugulosus Maxim.

原野ノ低濕ノ地ニ多キ多年生草本。地下ニハ短キ匍枝ヲ曳ク。莖ハ瘠硬、紫色ヲ帶ビ高サ30-50cmニシテ分岐セズ。葉ハ疎ニ互生シ、披針形或ハ線狀披針形ヲ呈シ、先端ハ漸尖頭、底部ハ廣楔形或ハ鈍形ニシテ無柄ナリ、邊緣ニハ疎ニ微鋸齒ヲ有シ、表面ハ暗綠色ニシテ皺ニ富ミ且ツ糙澁シテ質ハ剛ケレド割合ニ脆シ。晚夏初秋ノ候、梢上ニ疎ニ少數ノ頭狀花ヲ繖房狀ニ開ク。頭狀花ハ梗長ク、徑2-3cmヲ算シ、舌狀花ハ二十箇内外、白色ナレドモ花後往々紅紫色ニ染ム。和名ハ澤白菊ノ意ニシテ沼澤地ニ生ジ白花ヲ開ク故云フ。

第211圖

さく科



しをん

Aster tataricus L.

大形ノ多年生草本ニシテ通常庭園ニ栽植セラルルモ九州方面ニハ野生アリ。莖ハ直立シテ高サ1.5-2m許、葉ト共ニ粗糙ナリ。根葉ハ叢生シ、大形ナル長橢圓形ニシテ葉柄ヲ有シ、莖葉ハ狹小ニシテ莖ニ互生ス。秋月莖梢ニ小枝ヲ分チ、多數ノ淡紫色頭狀花ヲ繖房狀ニ着ク。中心小花ハ黄色。冠毛ハ白色。咳嗽藥トシテ煎服セラル。和名しをんハ紫苑ヨリ出デタルモノナレドモ、紫苑ハ本品ノ漢名ナラズ。

第212圖

さく科



ひめしをん

Aster fastigiatus Fisch.

原野ノ濕地ニ生ズル多年生草本ニシテ地下ニ根莖ヲ引キテ繁殖ス。莖ハ直立シテ高サ60cm内外。葉ハ倒披針形ヲ成シ、疎ニ低齒ヲ具ヘテ互生ス。根葉ハ大ニシテ叢生シ、葉柄アリ。夏日、莖梢ニ繖房狀枝ヲ分チ、多數ノ小形頭狀花相群リテ着ク。舌狀花ハ白色ニシテ中心管狀花ハ黄色ナリ。名稱ノ相似タルニ因リひめじよをんと誤ルコトアリ、注意スベシ。漢名 女苑(誤用)

第213圖

さく科

